

令和3年第1回経済建設常任委員会 概要報告

年 月 日	令和3年1月19日	会場	第1委員会室	案件	商工観光の施策について
出席委員	山田典幸、佐久間誠、塩田昌彦、今村芳彦、三浦勝秀、富岡達彦				
委員外議員					
欠席委員					

【報告事項】

(経済部)

新型コロナウイルスに係る追加経済対策について経済部から報告を受けた。

1) 新型コロナウイルスに係る追加経済対策について

■事業主体 名寄市

■事業の趣旨 新型コロナウイルス感染症の長期化により、大きな影響を受けている事業者に対し、経営の維持を支援するとともに感染症対策を推進し地域経済の持続を図るもの。

■事業内容

(1) 対象者 次の要件をすべて満たす者

① 名寄市内に事務所又は事業所を有する中小企業及び個人事業主（飲食業、バス・タクシー・運転代行業、宿泊業）で、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年11月から令和3年1月のいずれかの月の売上が、前年同月比で30%以上減少している者。

② 北海道スタイルの取組を実施する他、各業界ごとの感染予防ガイドラインに準じて取り組む者。

(2) 交付額

(ア) 飲食業/1店舗につき30万円

(イ) バス・タクシー業/事業所ごとに50万円+保有車両台数に応じた加算
運転代行業/事業所ごとに35万円

(ウ) 宿泊業/宿泊施設ごとに50万円+客室数×2万円+上下水道料金相当額

■申請期間 施行日から令和3年2月末まで

■予算額 7,700万円

2) 令和2年度 名寄市一般会計補正予算第11号(案)について

事業名 経営維持支援給付金給付事業費

補正額 【歳出】商工費 役務費 経営維持支援給付金広告料（新型コロナウイルス感染症対策）16万5千円

事業内容 「経営維持支援給付金」創設に伴い、広告媒体を活用して、中小企業等へ事業内容を周知する。

補正額 【歳出】商工費 委託料 経営維持支援給付金給付事務委託料（新型コロナウイルス感染症対策）10万円

事業内容 「経営維持支援給付金」創設に伴い、給付事務の一部を委託する。

補正額 【歳出】商工費 負担金補助及び交付金 経営維持支援給付金（新型コロナウイルス感染症対策）7,700万円

事業内容 新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が前年同月比で3割減少した中小企業等に対して給付金を交付する。

以上、補正予算（第11号）（案）の概要について説明を受けた。

3) その他

臼田経済部長から、1月15日になよろ温泉サンピラーの女性浴場の換気扇が落下したとの報告があった。午前11時30分頃、水風呂近くに落下。入浴客が8人いたが、幸いなことに怪我人はなかった。利用者から連絡を受け、入浴客の安全を確認するとともに業者に修繕を依頼し、応急措置を施すとともに、安全面を確認。13時過ぎに営業を再開した。市は「入浴中の利用者に不安を与え迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げたい」と謝罪し、新しい換気扇の設置に2週間ほどかかるが、修繕に向け早期に打ち合わせをすることとした等の報告があった。

【質疑】

Q 落下した原因は。設備補修は早急に取り組まなければならないことだ。コロナ禍の中換気口をふさいでいる。浴場のみの改修を先行させてはどうか。

A 定期的な点検はしていた。落下原因は特定できていないが、結露による老朽化ではないかと聞いている。換気対応では、ほかにも換気扇がついていることに加え、業者の安全確認もされていることから問題はない。改修については、この間、ローリングもしてきている。これまで以上に施設管理を徹底し速やかに対応する。

以上、委員からの質疑を受け、第1回経済建設常任委員会を終了した。

報告者 経済建設常任委員会 副委員長 佐久間 誠